

当園ではこの度、2019年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は子供たちの無限の可能性を伸ばすために、その人格形成の基礎となる大切な幼児期を、のびのびと明るく楽しく、すくすくと元気に、また、心優しく情操豊かに過ごせるよう、さまざまな経験や活動を実践しています。ひとりひとりの個性を大切に、おおらかさの中で、知性・感受性・健全な心身をはぐくんで参ります。

II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●家庭との協力・連携 ●サービスの向上

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	評価	取組み状況
1 教職員の資質向上	読み聞かせから知識やルール、愛情や優しさなど様々なことを学べるため、引き続き積極的に取り組んでいきたい。新人とベテランとでは読み聞かせ技術に差があるため、新人への技術指導を進めていく。	A	朝礼や合同集会で紙芝居や絵本の読み聞かせを日々行うことで、子どもたちの想像力や集中力が身につくと共に、新人の先生は先輩方の技術を学ぶ機会になっている。またそれらの取り組みを行う中で、子どもたちの反応から様々な工夫を行うことにもつながり、子どもたちの「楽しかった」「面白かった」などの声が励みにもなっている。
2 安全管理体制の充実	様々な種類の災害に対応できるよう、日頃から職員間で防災に関する話し合いを行っていく。また子どもたちにも訓練の重要性を伝えていきたい。	A	ここ数年で様々な災害が増えている中、防災や安全管理についての園長先生のお話を聞く機会が多く、職員や子どもたちも防災への関心が高まっているようである。お話以外にも、掲示物を見て学んだり、防災座布団を使って実践するなど取り組みを行っており、自然と学びにつながっている。
3 家庭との協力や連携	徒歩登園と比べてバス登園の保護者との接点が少なくなってしまうため、意識してコミュニケーションをとっていく必要がある。	A	徒歩登園と比べ、バス登園の保護者とはコミュニケーションが少なくなってしまう傾向にあるため、連絡ノートや電話で保護者に安心してもらえるように意識している。週末や行事後にもお手紙を書くなどの取り組みを行っている。また園だより、クラスだよりなども活用している。

評価項目	取組み内容	評価	取組み状況
4 サービスの向上	より良い教育を提供し続けるためにも、フリーで動くことのできる職員の確保が急務であると考えております。また、新人職員への指導方法、保育準備などの見直しも進めていきたい。	B	フリーで動ける職員が増えたことで、担任は自身のクラスの準備等に取り組みやすくなった。また子どもたちへのより細やかな関わりができるようになったように思う。もともと、先輩職員に質問しやすい職場環境であるため、新人職員は安心して業務に取り組みることができたのではないかとと思う。一方で、新人職員が育つには時間がかかるため、先輩が前もって動く、分担を決めて動いてもらう、などの工夫もさらに行ってきたい。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1 教職員の資質向上	読み聞かせは本園の特徴であるため、今度も継続していき、子どもだけでなく職員の心の成長にもつなげていきたい。合同集会では、慣れた先生が読み聞かせの担当になる傾向があるため、声の抑揚・表現の仕方などをしっかりと事前準備した上で、新人の先生にもチャレンジしてもらえようようにしたい。また、これまでは園長先生が良い絵本を選んで下さっていたが、職員もその力を育てていく必要がある。
2 安全管理体制の充実	若い先生も増えてきたため、全員が同じレベルの知識をもてるように、職員会議などで防災や安全管理について確認し合う必要がある。また災害が実際に起こったときに迅速に動くことができるように、避難訓練の頻度を増やしていきたい。
3 家庭との協力・連携	引き続き、全ての職員が笑顔で挨拶を行うことができるよう、しっかりと意識を統一していきたい。行事の後などは保護者と話す時間を多く取れるため、週末のお手紙なども活用して、バス登園の保護者とも密なコミュニケーションを図ってきたい。また、連絡ノートや電話も用いて、子どもの成長をご家庭と園の両方が分かち合い、体調管理などもお願いしていきたい。
4 サービスの向上	ベテランと新人とで力量に差があるのは当然のことなので、ベテランはフォローしながら教育育てる、新人は自ら積極的に相談して動く、といった意識をお互いにもっていくべきである。フリーの先生も同様に、担任の動きを見て、今子どもとどう接するべきかなどを考えて動く必要がある。サービスの向上にゴールはないので、常にレベルアップを意識して取り組むことが重要だ。

V. 学校関係者の評価

<p>子どもひとりひとり、おだやかで優しく丁寧に指導されています。自分のことしか考えない人が増えている時代、他人への思いやり溢れる先生方の態度や心遣いに感動します。さらなる努力とともに前進を期待します。(歯科医院長)</p> <p>質の高さや、明るさ優しさ楽しさがいつも感じられ、子どもの成長がぐんぐんと感じられる幼稚園です。先生方の一生懸命な指導、努力には感心させられます。一層に励んで下さい。素晴らしい幼稚園をこれからも維持し、さらなる発展を願っています。(関西大学名誉教授)</p> <p>毎年思いますが、質の高いの目標に向かって、ひとりひとりの園児を大切に指導して達成される姿には、感動致します。どの子どもたちも幸せに輝き、笑顔と優しさに満ち溢れています。心育を大切にしている幼稚園です。長年、勤務されている先生が結婚等で退職されても、園長先生が先頭に立って、若い先生方を指導されており、ベテランも若手も心ひとつに努力されている様子が伝わってきます。これからも、質の高い教育を目指し精進してください。(父母の会会長)</p> <p>どの先生方も和を大切に、園児・保護者と心の絆を深め、日々丁寧に過ごされている様子が伝わってきます。地域の方々や卒園生・卒園生の保護者とも永く絆をもっておられるのは尊いことだと思います。築き上げた伝統をこれからも守り、そして進化してください。(近隣の園の理事長)</p> <p>先生方が、それぞれ努力し、子ども達にとって大切な心を育てることを意識して研修され、自己研鑽されている点が素晴らしいと思います。守口幼稚園の先生方は優しさ、楽しさ溢れる素敵な先生方です。私立幼稚園として残られるため、独自の高い教育目標と、子どもたちの成長のための良い環境づくりに感動します。これからも、礼儀正しく道徳心を大切に、日本の未来を担う子どもたちを育ててください。(NPO法人 フレンド職員・理事)</p> <p>教育への取り組みがとても熱心で、一人一人の子どもへの温かい愛情をそそぎ、質の高い教育を目標として、丁寧に指導されていることが素晴らしいと思います。これからも道徳心のある教育を継続し、優しさあふれる幼稚園を築いてください。(NPO法人 フレンド理事長)</p> <p>教員の先生方は真剣に取り組む、子どもたちへ優しく温かく丁寧にかかわっておられます。高い教育目標に向かって、先生方が一致団結し、努力され日々実践されています。また、年間の様々な幼稚園での行事を通し、保護者との信頼関係を作り上げておられます。信頼関係、人間関係を大切にこれからもより一層励んで下さい。(京都大学名誉教授・関西大学特任教授)</p>

以上